

長畝ふるさと通信



【2024年8月号】

■ 騒々しいコメ騒動

お盆明けくらいから「令和のコメ騒動」がヒートアップしています。連日のようにマスコミが「米が無い、米が無い」と騒ぎ立て、お米屋さんにはコメを求める人々が殺到しているとか……。1993年には「平成のコメ騒動」でタイ米を緊急輸入するなど一時パニック状態になったことがありますが、この年は記録的な冷夏と長雨で収穫量が激減したことが原因でした。今回の騒動は新米が出回る前に流通在庫が底をついて急に値上がりしたことに加え、南海トラフ騒ぎで国民の不安を煽りすぎ、一部で備蓄用にコメを買い占める人が出たせいで一時的にコメが品薄状態になったのだと思います。組合でもHPからの注文や問い合わせが異常に多くなり、一気に在庫が切れてしまったため、完売お手上げ状態となったほどです。新米の価格も新潟県JAまでも他産地の異常な仮渡金高騰に影響され、これまでにない単価となっています。新米が出回ればこの騒ぎもある程度沈静化するでしょうが、改めて日本人にとってコメは「あって当たり前」「価格も他の食料品と比べて安定しているのが当たり前」の特異な食糧なのだと思います。



■ 8月のある朝、異様な雲が…不吉な予感。

昨年の苦い経験からコメ百姓は今年の作柄に異常にビビっているのです…

■ 現地視察交流会

8月25日、お米屋さんの現地視察交流会を開催しました。大阪・横浜・山形・沖縄など多方面から大勢ご参加くださいました。令和のコメ騒動について現場の状況を報告しあったり、今後の販売について意見交換しました。「パンは値上がりしても文句も出ないのに、なぜコメは値上げできないのか」「コメ騒動で新米価格は高騰しているが、消費離れを起こすのではないか、安いコメが出回れば専門店はやがて潰れる」など、米屋さんの厳しい現実を知らされました。



産地に対しては「コシヒカリ神話は既に崩壊し、消費者のコシヒカリ離れは顕著になっており、ニーズに合ったコメづくりを考えるべき」とのご指摘を頂く半面、「長畝のコメならトキ認証が無くても自信をもってお客様に進められる」との有難いお言葉も多数頂きました。令和7年産米の作付け計画がまた、難しくなりそうです。

■ R6年産米コシヒカリの収穫は9月中旬から

いよいよ収穫作業が始まります。8月は雨がほとんど降りませんでしたが、昨年と比べると幾分か気温も低く、用水も切らずに何とか凌ぐことができました。ドローンを使って追肥もしっかりと施肥したので、収量は期待できていると思います。肝心の品質については高温障害がどの程度影響しているのか、乾燥調製してみないと結果は分かりませんが、今は高品質を祈るばかりです。

世間ではコメ騒動で新米の価格はこれまでにない高価格帯となっているようですが、皆様方にはできるだけご迷惑を掛けない様、新米価格を設定させていただきました。時節柄、送料の値上げもあり若干の値上げをお願いした次第です。今年も丹精込めて作ったおコメを召し上がっていただきたいと思います。10月中旬にはお届けいたします。

おかわりは自由です。

